

授業科目名	社会的養護			科目コード	K1202L20
英文名	Social Care II				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	非常勤講師	担当教員名	竹島 弘子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	3限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	1単位		
授業の概要	社会的養護を受けて生活する子どもたちの理解と支援について、演習を通して主体的、対話的、実践的に学ぶ。（児童福祉施設での実務経験あり。）				
キーワード	施設養護と家庭養	子どもの行動理解	子どもの自立支援		
到達目標	子ども理解を踏まえた社会的養護実践の基礎的内容について具体的に理解できる。（25％）				
	施設養護及び家庭養護の実際について理解できる。（25％）				
	社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解できる。（25％）				
	子どもの虐待防止と家庭支援について理解できる。（25％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業の進め方（演習科目の目的、特徴など） 社会的養護の基本的枠組みと実施体系、施設養護と家庭養護について （社会的養護相談の入り口～相談の流れ～施設入所・里親委託までのプロセス）	
	【予習】社会的養護 の復習	30分
	【復習】講義の復習	30分
第2回	施設養護の特性および実際（１） （演習） 児童養護施設の事例…愛着関係の形成	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第3回	施設養護の特性および実際（２） （演習） 乳児院の事例・・・家族再統合にむけた親子への支援	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第4回	施設養護の特性および実際（３） （演習） 乳児院における個別支援計画（自立支援計画）の作成	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第5回	施設養護の特性および実際（４） （演習） 被虐待児の事例・・・子どもの気持ちを理解する（ロールプレイ）	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第6回	施設養護の特性および実際（５） （演習） 問題行動のある子どもの事例・・・心的外傷の行動化（ロールプレイ）	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第7回	家庭養護の特性および実際（１） （演習） 里親家庭で育つ子どもの事例・・・喪失体験と生い立ちの振り返り	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分
第8回	家庭養護の特性および実際（２） （演習） 乳児院に入所していた子どもの養子縁組までの事例・・・里親家庭で育つ利点 社会的養護の課題と展望	
	【予習】事例について自分の考えをまとめておく	30分
	【復習】講義の復習	30分

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 から について、レポート（80％）、演習への取り組み姿勢・受講態度（20％）で総合的に評価する。 なお、評価する基準は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20％ 社会性：20％ 専門性：60％		
使用資料 <テキスト>	学ぶ・わかる・みえるシリーズ 保育と現代社会	使用資料 <参考図書>	よくわかる社会的養護内容 第3版 小木曾宏・宮本秀樹・鈴木崇之 編
授業外学修等	5回目の授業で課題を伝えますので、授業外でレポートを作成し、第8回目を課題レポート提出日とします。 毎回の授業ではミニレポートを作成し、授業終了時に提出してもらい、翌週の授業の始めに口頭でフィードバックします。		
授業外質問方法	授業終了後に気軽に声をかけてください。		
オフィス・アワー	授業終了後に気軽に声をかけてください。		